

第6回レスキューロボットコンテスト 競技会予選

日時：2006年7月9日（日）10：00～16：30（最終入場16：00）

会場：神戸サンボーホール

レスコンへようこそ

レスキューロボットコンテスト（略称：レスコン）のアイデアは、阪神・淡路大震災の経験を踏まえて始まったレスキューシステムの研究会の中から生まれました。

2002年度から開始した文部科学省の「大都市大震災軽減化特別プロジェクト」を始めとして、最近レスキュー技術の研究は活発になってきています。一方で、本当に役に立つレスキューシステムの構築には、技術的側面だけではなく、研究開発の継続性と社会の理解を得ることも重要です。このような考えに基づいて、本コンテストは防災やレスキューの啓発や広報を主眼において開催しています。

レスコンは、本物の「レスキューロボット」の「コンテスト」ではありません。単なる「レスキューごっこ」（遊び）でもありません。レスキューロボットを実現するためのエッセンス（遠隔操縦技術、対象物をやさしく扱う技術、複数のロボットの協調技術など）がいくつも詰まっています。

競技に参加した皆さんや見に来られた皆さんが、防災やレスキューの大切さや難しさについて思いを巡らせ、安全で安心な社会を作っていくヒントを見つけたり、将来、本物のレスキューロボットの研究開発を目指したりして下さることを期待しています。

2006年7月9日 レスキューロボットコンテスト実行委員会
実行委員長 升谷 保博



ストーリー

ここは『国際レスキュー工学研究所』。この研究所では、レスキュー技術の評価と訓練のために、コンテスト形式で実験が行われている。研究所内には、大地震で倒壊した市街地を模擬した1/6スケールの実験フィールドが構築されており、いままさにレスキュー訓練が開始されようとしている。今回の状況設定は次のとおりである。

状況1）瓦礫の中には実験用レスキューダミーが数体設置されている。

状況2）二次災害のおそれがあり、人間が立ち入ることができない。

そこで、遠隔操縦のレスキューロボットの出動だ！ロボットから送られる映像を頼りに、一刻も早くガレキや障害物を取り除き、レスキューダミーを優しく助出し、安全な場所へ運ぶことが任務である。

今のところは、架空の研究所です。

スケジュール

2 階：競技会予選

10:00～10:30 開会式

10:30～12:30 予選第1～8 競技

13:00～15:45 予選第9～19 競技

15:45～16:00 閉会式

1 階：同時開催行事

10:00～17:00

神戸大学発 - 安全で安心な都市とは！ -

予選について

第6回レスコンでは、多くの参加希望チームにレスキューロボットを製作する機会を与えるため、書類審査により選抜するチーム数を従来の12チームから18チームに増やしました。その代わりに予選を行うことにしました。予選ではロボットの基本的な能力を評価します。これによって、より完成度の高いロボットが本選に出場してくれることを期待しています。

予選を通過し、本選へ参加できるチーム数は10チームです。また、それとは別に主催者枠（地元枠）の2チームも本選へ進みます。ただし、その2チームも同じように予選に参加します。

がんばろう KOBE

神戸市立高専



ロボット名: GK-01 SAVER,
GK-02 RELIEVER

自由度の高いハンドと全周
囲確認カメラで効率よく救助
をします

私たちは阪神淡路大震災の経験から救助に
必要な事を考えました

主催者枠
地元枠

六甲おろし 神戸大学



ロボット名: Rokko-robo Ω,
Rokko-robo Δ, Rokko-robo Σ

やさしく救助するため
のアイデアいっぱいの
機体で臨みます!

今年こそは完全無事救助! 六甲おろし
旋風を巻き起こします!

SRT 東海地区学生社会人合同チーム



ロボット名: AS, VC

軽自動車サイズで多
目的なハンドを搭載し
た全方向移動ロボット

特別なロボットを用いて特別な救助を行う
Special Rescue Team

↓
一般選出

MRC ものつくり大学 ロボコンプロジェクト



ロボット名: MRC1号,
MRC2号, MRC3号,
MRC4号, MRC5号

大型アーム搭載の小型マ
シン。搬送ロボットは自動
動作。計5台!

大学2年生主体の、まだ経験浅いチームですが、
がんばります!

MSRT 金沢工業大学 夢工房



ロボット名: DMR-heart,
DMR-move, DMR-assist

万能機、搬送・探査機とし
て救助機の3種類のロボッ
トです。

MSRTは被災地での全天候型ロボットを創
ることを目指しています。

ORC 大阪府立高専 ろぼっと倶楽部



ロボット名: ORC-α,
ORC-β, ORC-γ

三台のロボットが個別
の役割(救助、瓦礫除
去、情報提供)を行う。

チームは全員が、府立高専の二年生という
若いチームです。

OGR4 大阪府立高専 OB



ロボット名: O, G, R

どこよりも先に導入
した「元祖」引き込み
方式の救助に注目!

過去5年間全ての大会に出場している
ベテランチームです!

カギケン 神戸市立科学技術高校



ロボット名:
KGw-01, KGw-02

特徴はアームとベッドの1
号機、音声と瓦礫除去ブ
レードの2号機

初出場だった前回の経験を生かし、
ダミヤンを救いたい。

紀ノ国 和歌山大学 光メカトロニクス学科



ロボット名: 龍神,
キノピ, 那智勝浦

異なるロボットを3台
用意し、各役割に特
化しました。

今回が和歌山からも初出場になります。
精一杯頑張ります!!

救命ゴリラ! 大阪電気通信大学 レスコンプロジェクト



ロボット名:
エレタ, ベーコ, クロン

あふれる個性が素早
く救出。

救命ゴリラ! 発進!!

グリーンベレー 四国職業能力開発大学校

出場辞退

DURP 同志社大学 ローム記念館プロジェクト



ロボット名: シリウス,
スピカ, エウロパ, ポラリス
操作ミスを未然に防ぐ機能
を搭載。様々な災害現場
に対応します。

迅速性の中に最大限の安全性を取り入れ、
全員救助を目指します。

NITRR 名古屋工業大学 ロボコン工房



ロボット名: Proton,
Electron, Neutron
ダミヤン救助用マシン一台
と搬出用マシン二台で構
成。

レスコンは初参加ですが、できる限りのアイ
デアを積み込みました。

Fukaken 大阪府立高専 福祉科学研究会



ロボット名: 甲, 乙, 丙
被災地の状況に柔軟
に対応できるチームワ
ークを目指します。

念願の初出場！私たちは「やさしさ」でレス
キューいたします！！

都工機械電気 大阪市立都島工業高校 機械電気科



ロボット名: ドラム君 号,
4ネイルホッパー君,
Wブレードキリン君
救助専用、広域探査専用、
探査～救助までこなす万能
型の計3機

シンプルで動作確実なロボット製作を目指
す、高校生チームです！

K.U.M.C 京都大学 機械研究会



ロボット名:
ベンケイ, ウシワカ
手の長いロボットが操
縦者と同じような動き
をしてくれます。

チャレンジ精神は旺盛です

T.R.R.L. 津山高専 電子制御工学科



ロボット名:
ライフサポーター1号,
ライフサポーター2号,
バックオーライ3だ～い
4輪駆動・多輪駆動のロボット,
機能別のさまざまなロボット

本科1年から専攻科1年までの有志チーム
で、大賞を目指します。

NEOレス！ 岡山大学 ロボット研究会



ロボット名: RED,
BLUE, YELLOW

要救助者に優しい、新
しいレスキュー活動
を目指した工夫満載！

チームのメンバーが全員同じ学科で、とても
仲のいいチームです！

ミノーズ 岐阜高専



ロボット名: GM-R1,
GM-R2, GM-R3,
GM-Info1, GM-Info2

引き込み方式を採用した
子機による優しい救助に
ご注目ください

我々ミノーズはダミヤンを無傷でやさしく救助する
ことを誓います

MEDIC 近畿大学 ロボット研究会



ロボット名: セイバー,
アシスト, ヘルパー

それぞれがもつ独特なア
ームとクローラーでダミヤ
ンを助けます！

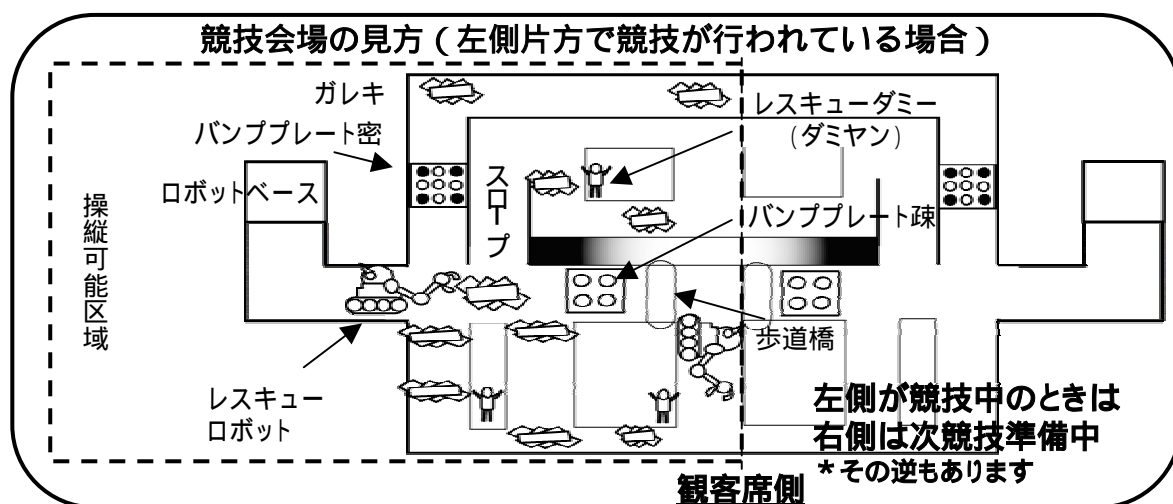
全員がレスキュー大会未経験ですが、
頑張ります！

予選競技の概要

競技会場には、市街地を模擬した1/6スケールの実験フィールドがあり、その中に要救助者を模擬したレスキューダミー（愛称ダミヤン）が配置されています。今回からフィールドの中に坂道や高台や歩道橋なども設けています。

このフィールドを左右に分けて半面で1チームずつ競技を行います（本選では全面で2チームが同時に競技を行います）。各チームのロボットは、ロボットベースから出動し、レスキュー活動時間（10分）内に3体のダミヤンを連れ帰らなければなりません。本選では、コントロールルーム内でロボット搭載カメラの映像だけを頼りにロボットを操縦しなければなりません。予選では目視による操縦が許されています。

本選へ選抜されるのは、連れ帰ったダミヤンの数の多いチームです。その数が同じ場合には、応募書類の審査結果が良いチームが選ばれます。



本選:8月5日(土). 6日(日) 神戸サンボーホールにて開催!

主催：レスキューロボットコンテスト実行委員会，兵庫県，神戸市，（株）神戸商工貿易センター，読売新聞大阪本社

共催：（社）計測自動制御学会システムインテグレーション部門，（社）日本ロボット学会，レスキューロボットコンテストシリーズ実行委員会

特別協賛：アールエスコンポーネンツ（株）

協賛：A協賛：旭光電機（株），コマツ，（株）タミヤ，トピー工業（株），ニッタ（株），（株）富士通岡山システムエンジニアリング，村田機械（株），ヨドブレ（株）

B協賛：（株）システムワット，ビー・エル・オートテック（株）

C協賛：インフォテリア（株），オリエンタルモーター（株），カノーブス（株），（株）京都科学，神戸市立フルーツフラワーパーク，三和電子機器（株），第一工業製薬（株），ツカサ電工（株），トーヨー技研工業（株），（株）トヨタケーラム，（株）ドルフィンシステム，日本自動ドア（株），日本精工（株），ミネベア（株）

協力：神戸大学都市安全研究センター，神戸芸術工科大学，こうべロボットスクール，はりまロボットスクールプロジェクト，（株）ジャイロワーク

後援：総務省消防庁，近畿経済産業局，大阪府，兵庫県教育委員会，神戸市教育委員会，神戸商工会議所，（社）関西経済連合会，関西次世代ロボット推進会議，N I R O神戸ロボット研究所，N P O法人 日本レスキュー協会，N P O法人 国際レスキューシステム研究機構

ご注意

必ずお守りください！！

- ・会場内では飲食および喫煙は厳禁
- ・会場内でフラッシュを伴う撮影は禁止（レスキューロボット達が誤動作します）
- ・会場内では携帯電話の電源をオフ（遠隔操縦用の無線カメラ画像が乱れます）

会場内飲食禁止！

フラッシュ禁止！

携帯の電源はオフ！

